

## 第16回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成22年7月15日（木） 午後6時30分～8時30分
- 場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
- 出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員  
田中企画政策課長補佐、前原係長代理、小川主任

（委員10名、市3名）

### 【概要】

#### 1. 環境（緑・水・エネルギー）について

- ・西村会長が「環境」に関する提言書のサンプルを作成。テーマごとの提言書のサンプルであり、なぜこのテーマを選んだのか等の説明を記載する全体的なものとは別になる。
- ・提言書の「あるべき姿」という文言について、もっと適切な表現がないか検討する。
- ・提言の中に、全体的な理想論に加えて、具体的に何をどうするかといったことを記載するべきである。
- ・提言は数多く掲載するのではなく、少数の「これだけはお願いしたい」というものを記載するべきである。
- ・提言全体に関するキャッチコピーを示すこととする。例えば「天（太陽、日照時間）の恵み・地（緑、土地、やまと芋、スイカ、水）・人（技術力、人口バランス）」。
- ・本市には観光計画がないため、提言をしても何もできないのではないかと。観光計画を作成するセクションが市役所内にあるべきである。
- ・観光の核になるものを、意識的につくるべきである。
- ・本市は国内でも日照時間の長い都市であり、「太陽と仲の良い都市」として、エコキュート、東電、三洋電機ソーラーパネル等を絡めて観光資源とできないか。
- ・パルタウンのソーラーパネル、エコハウス、青色LEDの防犯灯等本市には環境における観光資源が多数ある。
- ・市民会館跡地を緑多い場所としたい。
- ・市民会館跡地をお祭り広場としたい。
- ・太田駅・市民会館跡地・バスターミナルを緑でつなぎ、散策できるようにする。
- ・樹木が多いと落葉やゴミが多くなり維持費が掛かる、だから道路には大きな街路樹は無いほうが良いという発想が行政にはあるのではないかと。
- ・仙台市を訪問したが、木の手入れが大変だなと感じた。観光テーマごとに約1時間で1周するバスがあり、250円であった。
- ・また、日本で最初に、けやき通りに東北大学がLEDの点灯を始めた。
- ・歩く観光を目指すのであれば、道中に買物ができる所や見物ができる所などの目玉が必要。また、周回コースにする必要がある。

- ・太田吉沢ゆりの里に行ったが感動した。ゆり園はブームであるが、2年目以降は雑草対策が大変である。写真を撮っている人が沢山いたが、花の中には入れないようであり、もっと開放しても良いのではないかと感じた。
- ・御城道沿いに意識的に店ができれば人が集まる。
- ・妙参寺沼、矢太神水源、ほたるの里公園を一体で整備し、遊べる場所とする。
- ・エコハウスのソーラーで沸かしたお湯を利用した湯茶のサービスを行う。
- ・尾島の歴史公園には休憩所があり、そこで地元の老人会が交代でお茶飲み話しをしながら無料で湯茶を出すというサービスを行っている。
- ・本市では二毛作が盛んに行われていることを提言書に書きたい。
- ・小麦に対する国の補助金が無くなったため、小麦を作る農家はほとんどいなくなる。提言をしても難しいのではないか。
- ・「太田市の焼きそば」は日本三大焼きそばの一つであると言われているが、あまり知られていない。市がPRに力を入れるべきではないか。また、味やスタイルが決まっていなため特色がないので、統一するべきではないか。
- ・美味しいものを作っていれば他店が真似をし、自然に味やスタイルが決まってくるものである。また美味しければPRを行わなくても人は食べに来る。

## 2. 今後の進め方（提言書作成）について

- ・4つのテーマ間での調整は現時点では行わない。
- ・8月の会議時に各チームが提言書のたたき台を持ちよる。

### 【次回の会議】

日時 8月19日（木）午後6時30分～

場所 太田市役所10階 政策推進会議室